

世界の実物資料を使って 学ぶ多様性と協働

主な対象 中学生以上
所要時間 90分～

学内でも新入生を対象に実施しているワークショップです。世界各国のコマとインドネシアの楽器「アングルン」を使用します。これらを題材に問題解決に取り組むアクティビティを提供し、聴くこと協働することについて学びます。活発なコミュニケーションを促し、集団内の関係を構築するきっかけづくりとすることもできます。

① イントロダクション

子どもたちや留学生からの感想を聴くほか、ワークショップを通じた子どもたちの活動の様子から、「聴く」と「協働」を実践していた様子をフィードバックします。

② 触察伝言ゲーム



一つのグループを「触察係」、「発見係」に分け、協働して実物資料を探し出すアクティビティです。全員アイマスクをして、触察係は与えられた実物資料を触察して得た情報を発見係に伝えます。発見係は、その情報をもとに、実物資料を探し出します。

言葉やジェスチャーで友達に伝えるのは難しいけど、面白い！



③ 世界のコマの回し方クイズ



触察伝言ゲームで使用した世界各国のコマの回し方を、グループごとに考え実際に回します。各グループにコマを2～3点手渡し、自由に観察しながらアイデアを共有し試行錯誤を通じて回し方を見つけ出します。

④ ねらいの確認

ここまでのアクティビティを振り返り、多様性や協働について考えます。そして、異なる個性を持ったグループで問題解決に取り組むには、どうすればいいのか問いかけ、次のアクティビティでは、意識的に実践してみようという問いかけます。

いつも一緒の同じクラスのメンバーでも意識して「問題解決」するって考えるとドキドキする！



⑤ アングルン合奏チャレンジ



インドネシアの「アングルン」という竹楽器を2グループに1セットずつ手渡します。各グループはアングルンをどうやって使えば合奏することができるのか、試行錯誤に取り組みます。一定の時間を与えた後グループごとに合奏を披露してもらいます。

⑥ 振り返り

ワークショップでの活動を振り返ります。また、エドゥケーターから、全体を通じた学習者の活動の様子のフィードバックを行います。

どうやれば合奏できるか友達と考えて、うまくできると楽しい！

